



国土緑化株式会社

前橋市



代表者：高橋範行
設立年月日：1987年10月31日
資本金：3,000万円
従業員数：12人

住所：前橋市富士見町赤城山1204-435
TEL：027-288-6090
Mail：kokudo@japan-recycle.com
URL：http://www.japan-recycle.com/kokudo



WEBサイト

● 事業者紹介

1987年の会社設立当初より、循環型社会の実現への挑戦をコンセプトに、緑のリサイクル事業を続けています。

主な事業内容は、下水汚泥や木材（未利用材）等の産業廃棄物を独自のリサイクル技術により、生育基盤材として緑化用資材に活用する、資源循環型のリサイクル事業に取り組んでいます。



● 経緯・背景

会社設立当時、廃棄物の埋立や焼却処分は、貴重な資源の大量消費と共に環境に大きな負荷を与えることが社会的な問題となっていました。

弊社の事業目標は、郷土の自然環境の保全と快適な生活環境を実現し、国土の防災・減災に寄与することです。公共工事等から発生する廃棄物をリサイクル技術により、緑地保全や緑化推進の資材として活用する構想のもと、研究開発を進め、安全な生育基盤材生産技術を確立しました。

● 具体的な取組や成果

下水汚泥や未利用森林資源を混合しコンポスト化した安全な生育基盤材「緑化基盤材ネオソイルS」を開発

長年の研究によって、安全な生育基盤材「緑化基盤材ネオソイルS」を開発し、農林水産省の汚泥発酵肥料登録を取得しました。「緑化基盤材ネオソイルS」は、県内の下水処理場で発生した下水汚泥を主体に、森林保全事業で生じる支障木や伐根、林業生産の場で生じる樹皮、竹林整備で生じる伐竹などの未利用森林資源を混合し、コンポスト化した製品です。現在は、主に法面保護工事における緑化基盤材として利用されています。

これらの取組により、平成15年「リデュース・リユース・リサイクル推進功労者」として国土交通大臣賞を受賞しました。

その後も、東日本大震災の被災地で発生した倒木等の廃棄物を回収し、「緑化基盤材ネオソイルS」として、被災地の公園等を建設する際に活用されました。最近では、上信自動車道の建設現場や、災害現場の復旧事業に広く利用されています。

この結果、汚泥の引取量も順調に増加し、今では毎月約300tの実績を積み上げています。



登米市パークゴルフ場建設工事（宮城県登米市）



2018年度 防災林造成事業（宮城県岩沼市）

当社にとってのSDGsビジョン

地産地消の循環型資源として幅広い分野への展開

「緑化基盤材ネオソイルS」は、農林水産省の肥料登録を取得した地産地消の循環型資源として、低コストで利用できる肥料です。現在、法面緑化用資材として数多くの工事現場で利用されています。今後も持続可能な循環型社会の実現に向けて活用範囲を拡大したいと考えています。

今後の展望と求めるパートナー像

有機肥料を検討している農家の方々と連携したい

汚泥等の下水道資源や、伐採木・伐竹等の未利用森林資源は、農業や他の分野において、まだまだ活躍できる可能性を秘めています。環境への負荷を軽減する県産材100%のクリーンな有機肥料として、SDGsに関心を持つ農家の方々と連携し、事業を展開していきたいと考えています。